

開催日時	平成 29 年 3 月 18 日(土) 14 時 00 分～16 時 00 分
会 場	視聴覚室
参加者数	利用団体：91 団体・99 人
今回のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い館運営を行うため、利用者と意見交換を行い相互理解を目指す。</li> <li>・来年度事業等に向けて利用者から意見を聴取する。</li> <li>・グループ討議を行う中で参加者全員から意見を引き出すとともに、利用者同士のつながりを形成しつつ、30 周年記念事業へ参加をする意欲を導く。</li> <li>・団体連絡箱の調整</li> </ul>
次 第 (形 態)	<p>1. 開会 2. 施設利用に関して①H29 年度施設工事について②来館者用駐車場について③サークル紹介誌について④印刷室の利用、空室の当日利用について⑤団体登録時の名簿の提示について</p> <p>3. 公民館事業に関して①答申について②H29 年度事業計画について③障がい者学級くるみ学級の活動について④30 周年記念事業の実施と参加団体の募集について 4. 団体連絡箱について 5. 活動曜日ごとに分かれて話し合い 6. 閉会</p>
施設利用に関し て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月の利用懇で H29 年度に空調工事をする と伝えたが、H29 年度に設計をし、H30 年度以降に工事をする予定。</li> <li>・駐車場は、新年度から配布資料の配置で 6 台までとなる。利用団体につき 1 スペースのご協力や、満車時には近隣の有料パーキングの利用のお願いをする。希望者には P マップを配布する。</li> <li>・29 年度サークル紹介誌の制作を計画中。メンバー募集にも繋がるので参加を促す。</li> <li>・印刷室の作業机が空いているとき、印刷以外の利用が出来るように利用者みなさんと利用方法を考えていく。来年度の 6 月の利用者懇談会で詳細をお伝えする。</li> <li>・空き室の当日貸しの利用について考えていきたい。</li> <li>・団体登録時に名簿を提示してもらうことを考えている。H30 年に一斉更新の際には既に登録済みの団体にも提示してもらう予定。</li> </ul>
質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利) サークル構成人数と、市内外の配分は？→3 人以上、過半数以上。</li> <li>・利) サークル紹介誌はどの公民館で出したらいいか？→活動している、それぞれの公民館で出して可。</li> <li>・利) 印刷室での会議は、推進して欲しい。部屋が取れず、「ふれあい」を利用したりしているので助かる。</li> <li>・利) 印刷室の作業机を使うので、作業機の貸し出しは難しい。→印刷する団体が優先になると思う。</li> <li>・利) 団体連絡箱を利用していないサークルには利用懇のお知らせが来なかった。→公民館だよりやポスターで広報。今後は周知に努める。</li> </ul>
公民館事業に関 して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育を考える講座を中心に 30 周年を合わせ見定め直す。柳沢公民館の今とこれからの考える。ヤギフェスも含めて行うことを計画している。</li> <li>・答申を 3 月号の公民館だよりに掲載。希望者には配布もする。</li> <li>・平成 29 年度事業計画について 「実施事業予定一覧表」を配布する。</li> <li>・柳沢公民館が主催する障がい者学級「くるみ学級」の活動の様子を紹介。18 歳以上の知的障害のある方が参加している。職員とスタッフが学級生の意見を取り入れながら活動している。活動に</li> </ul>

	<p>協力可能な団体、また学級生をはじめ障がい者の加入を認める団体があれば、声を掛けて欲しい。同じ地域に暮らす仲間としてみんなと一緒に考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30周年記念事業の実施と参加団体の募集について、資料を配布して説明する。</li> <li>・柳沢公民館利用団体の「サークル紹介」(A5サイズ)の提案。→賛成の声多く、作成することに決まる。窓口に所定の用紙を用意し、記入の上提出されたものを公民館が冊子にまとめる。</li> </ul>
質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利) 30周年記念事業への参加申し込みの締切は?→4/16の実行委員会に出席願うが、随時参加は受け付ける。</li> <li>・利) 展示スケジュールは?→今後、参加団体数によって日数も変わる。</li> <li>・人形劇フェスタの実行委員の方から、来年度柳沢公民館で開催の案内と、ご理解とご協力の呼びかけ。</li> <li>・公運審委員の二人から、答申閲覧と、障がい者の方にもサークル活動に対して門戸を開き見学会や体験会にもぜひ参加させてほしいという願いがあった。</li> </ul>
団体連絡箱について	<p>新規希望1団体・小から大への変更希望1団体→空いている連絡箱を使用することを了承され、抽選は行わなかった。今年度から鍵は公民館が管理し、支障なく運営されている。</p>
活動曜日ごとに分かれて話し合い グループ討議	<p>○月曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の確保が難しい。会場もなかなか取れず困っている。</li> <li>☆文化祭があるので、参加は難しいかもしれない。(2)</li> <li>☆一日絵画教室で、絵に親しんでもらうことは可能である。</li> <li>☆サークルの講師の講演などは考えられる。</li> <li>☆語りの場合は、視聴覚室など閉じた空間が必要。</li> </ul> <p>○火曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の大切さを再認識してほしい。公民館があるからこそ、いろいろな活動ができる。</li> <li>・部屋がなかなか取れず困っている。歴史のある団体であることもあり、高齢化している。</li> <li>・マダムポットがくるみ学級とエアロビクスが出来ると思うので、サークルに持ち帰って話す。</li> <li>・水まわり、ポット、棚をきれいにしたい。</li> <li>☆30周年記念イベントには、楽器に触れあう体験はどうか。</li> </ul> <p>○水曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くのサークルが、新しく入会する人がほとんどいない、会員の高齢化が進んでいるといった共通の悩みを抱えていた。</li> <li>☆そのような中(上記)で、開館30周年記念事業は、新しい仲間との出会う機会ではないかと話し合った。</li> <li>☆視聴覚室で各サークルがブースを出すという催しへの関心が高く、活動紹介の展示やワークショップの開催で、記念事業への参加を検討したいという団体もあった。</li> </ul> <p>○木曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋が取りにくい。メンバーの高齢化。新規の方の参加がなかなか難しい。どのサークルも同じような悩みを抱えていた。</li> <li>・公共施設予約システムの利用方法で、月2回の活動であっても4コマの抽選申込をしても良いと、有利な方法や他施設の情報をサークル同士で教え合う。</li> <li>☆音楽サークル合同の演奏会を行おうという意見がまとまる。</li> </ul>

	<p>☆合同演奏会には、くるみ学級も一緒に参加しよう！</p> <p>☆イベント期間は、夜間も催しものを開催したらどうか？</p> <p>○金曜日</p> <p>☆イベント参加について、サークルに持ち帰り検討したいという意見多数。</p> <p>☆後から参加したかったというサークルも出てくるので、十分な PR が必要だ。</p> <p>☆ある時点で参加団体・人数を把握して選別する必要があるのではないか？</p> <p>☆防災等の展示もしたら良い。</p> <p>☆ブース分けをし、ワークショップ・体験コーナーも設け、交流する場を作る。</p> <p>○土曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動歴の長いサークルから柳沢公民館開館時の成り立ちについてのお話を伺う。</li> <li>・サークル誌は会員募集にもつながるのでぜひ作ろう。</li> </ul> <p>☆展示、発表だけでなく、ワークショップも行おう！</p> <p style="padding-left: 2em;">写真の撮り方、合唱やハーモニカ、弦楽器等楽器体験等</p> <p>☆市民企画事業の 30 年の歩みとともに、自然環境や食品や暮らしに関わる発表や展示があっても良いのではないかな。</p> <p>○日曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館は身近で安心して利用できる場である。</li> <li>・場所を借りる感覚があるが、勉強する場、学びの場として考えることが大切である。</li> <li>・公民館主催講座を通して様々な年代が交流し、サークルに発展、まだまだ学びが続き、テーマどおり “つながってる ” ように感じている。</li> <li>・ヤギフェスでは、大学生と高齢者との良い交流ができ、学び合う場となった。</li> </ul> <p>☆柳沢公民館の歴史や歩みを学べたり、これまで活動してきた歴史のあるサークルを紹介したりする機会を設ける。</p> <p>☆ヤギフェスでワークショップを行い、好評だった。展示だけでなく、ワークショップも行うと良い。</p> <p>☆公民館が 30 周年なら図書館も 30 周年！コラボができれば良いのではないかな。</p>
<p>印象・反省点</p>	<p>例年グループ討議では司会・記録・発表は市民の方をお願いしていたが、今回は市民の方には討議に集中していただくため、職員がすべて担当した。市民からこの手法は好評だった。発表も職員が順にしたところ、「一丸となって頑張っている感じがあって良かった」とお褒めのお言葉をいただいた。</p> <p>30 周年記念事業に向けて、皆さん真剣に考え様々なアイデアが出された。参加してみようという意欲も感じられた。貴重なご意見を参考に取組んでいきたい。</p>
<p>配布資料</p>	<p>1. 来館者用駐車場の配置図 2. 「サークル紹介」を作りました 3. 平成 29 年度事業計画 4. 柳沢公民館 30 周年事業について 5. 30 周年記念イベント参加申し込み 6. メッセージカード</p>

## 利用者懇談会報告(2016年度3月)【田無公民館】

開催日時	2017年3月11日(土) 14時00分～16時00分 (前半…利用者懇談会 後半…団体連絡箱調整会)
会 場	視聴覚室
参加者数	利用団体：84 団体 94 人 (公民館運営審議会委員2人含む) 職員 5 人 合計 99 人
今回のねらい	○利用者懇談会の意義と必要性の説明。○施設使用上の留意事項(田無公民館からのお願い)の確認。○平成28年度事業の総括、平成29年度重点事業の確認。○施設や備品等についての意見交換、運営上の課題等の共有。○平成28年度防災訓練(1月20日)報告事項の共有、災害時の避難行動の確認。○実習室利用サークル向け利用者懇談会(2月11日)報告事項の共有。○団体連絡箱の調整。
次 第 (形 態)	①館長挨拶、職員紹介、利用者懇談会の趣旨説明 ②公民館から報告 ③公民館からのお願い ④公民館への要望、意見交換、質疑応答 ⑤団体連絡箱調整会
公民館側からの連絡事項等	○来年度事業(案)について ○田無公民館40周年記念誌作成について ○田無公民館の事業について ○田無公民館の防災関連 ○施設内の共有部分(ロビー、トイレ)について ○駐車場利用券、夜間警備体制について ○施設、備品について ○1階ロビーの活性化について ○田無公民館ニュースについて ○各担当から事業の説明 ○使用時間の徹底(5分前退出のお願い)について ○無断キャンセルについて ○印刷機原紙使用料の支払いについて ○備品の貸出し、取扱いについて ○音出し可能な部屋について ○目的に沿った部屋の使用について ○室内備品配置の復元、倉庫の整理について ○団体連絡箱の施錠について ○使用確認票の記入について ○忘れ物について ○「私達はこんなグループです」の更新について ○代表者、担当者の更新について ○節電、節水、空調温度設定について ○給湯室扉の鍵について ○新規購入備品について(炊飯器、電子ピアノの脚) ○2F床タイル剥がれ修繕(予定)について
主な意見等 ●…市民 ○…公民館	<p>●三館合築に関して、行政が主体となって市民の声を反映させる場を設けて欲しい。公民館の無料を守って欲しい。●市民同士で声をあげて、公民館存置を訴えていきたい。●公民館は日々の練習、学習のためだけにあるのではなく、市民が自主的につくるものである。田無公民館まつり(5月13日、14日)や田無公民館利用者連絡会にも、積極的な参加をお願いしたい。●「音出し可能」に含まれる活動とはどんなものか。●絵画サークルは実習室で活動して良いのか。●田無公民館にはどれくらいのサークル登録があるのか。</p> <p>○三館合築に関して公表できることは、相応しい機会にお伝えしていく。無料を守ってほしいという意見に関しては、然るべきところで声をあげさせていただく。○「音出し可能」が指す活動とは、楽器(和太鼓を含む)を用いる音楽</p>

	<p>関係の活動などがそれにあたる。○実習室を遠慮していただきたい活動内容とは、会議などを指す。絵画サークルは利用していただいて構わない。○活動サークル数に関しては、6館共通の予約システムを利用しているため、田無公民館のみに絞って数を把握するのは難しい。現在活動のあるサークルだけでも200以上にのぼるのではないか。</p>
印象、反省点	<p>○団体連絡箱の調整会を併せて行い、多数の利用者が集まった。公民館の根本的なあり方に関わることから、日々の利用における些末なことまで、意見は多岐に渡った。公民館の運営について、関心の高さは一人一人異なるように見受けられる。さまざまな利用者の間で意見を共有でき、それぞれにとって理想的な公民館をつくるために有意義な時間となった。○会の冒頭で全員の合意を確認し、東日本大震災への黙祷時間（14時46分から1分間）を設けた。適切な配慮をいただけたとの声があった。</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用懇レジュメ</li> <li>・「災害が発生したら」2016年9月版（田無）</li> <li>・「私達はこんなグループです」</li> </ul>

## 利用者懇談会報告(2017年3月)

【芝久保公民館】

開催日時	平成29年3月4日(土) 10時~12時	会場	視聴覚室
参加者数	41団体 44名(公民館運営審議会委員4名) 職員・大橋館長、山本分館長、大江専門員、山田専門員、伊勢専門員、山本専門員		
今回のねらい	団体連絡箱の調整会も行うことで多くの参加を促し、サークル同士の交流を図る。		
次第(形態)	1 芝久保公民館利用者懇談会 ①職員紹介 ②進行確認 ③参加団体自己紹介 ④公民館からの報告 ⑤29年度事業について ⑥その他 ⑦質問・意見交換 2 団体連絡箱調整会		
公民館側からの連絡事項等	① 28年度9月以降の施設維持(修繕内容、備品の移動、夜間自習室の部屋の変更など) ② 防災関係(1月20日防災訓練の報告、3月4日朝の非常ベル確認、3月29日陶芸窯消防訓練のご案内) ③ 芝久保公民館主催事業の報告(芝久保公民館まつり反省会と応援募金の報告、陶芸窯利用者懇談会の報告、その他配布資料にて主催講座報告、公民館だより原稿締切日の変更等、市民企画事業実施の呼びかけ、夜間自習室のPR、空き室の有効利用について卓球台開放の状況等) ④ 29年度事業について(公民館だより4月号1面掲載記事参照。芝久保公民館では、地域の人材を活かす講座や人権に配慮した講座を展開予定。)		
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻雀のテーブルを運ぶのに2階用に台車かワゴンなど専用のものが欲しい。持込可か。 →1階倉庫のワゴンを使用してほしい。他館で倉庫内の一部貸出しもあるようなので、ワゴンの2階倉庫への持込保管については今後検討させていただきたい。</li> <li>・和室の机が重い、故障のものもある。創作室だと太鼓には机が高くうまく調整できない。 →創作室以外の学習室であれば机を寄せてゴザや座布団を敷いて使用可能。防音・減音の観点から各学習室の扉のガラリ修繕なども予定している。</li> <li>・52型テレビモニターを以前のように2階倉庫にお願いしたい。 →災害時に一時滞在施設となるため情報収集用に大型テレビモニターを購入した経緯があり1階倉庫で保管。モニター利用団体の皆様にはご理解ご協力をお願いしたい。</li> <li>・地域の子どもたちから芝久保公民館で卓球ができて嬉しいとの声があり、いいことだと思う、詳細を教えてください。</li> <li>・卓球台について公民館から導入の手続き的なことも含めてお話をいただきたい。 →9月3日利用者懇談会で卓球台を設営しスポーツ振興課を通じて西東京市スポーツセンターから1台借用できた旨を伝えて試打体験。団体のレクリエーションで利用できるの部屋予約と併せて借用申請して活用してほしい</li> </ul>		

	<p>いと伝えた。午前・午後・夜間共に空室が目立ち企画政策課から5年以上前から空室の有効利用の取組みを要求され続けている。レクリエーション卓球のサークルも立ち上がり利用率アップにもつながっている。すぐ近くの西原児童館が閉館となり多くの子どもたちが芝久保公民館ロビーに集っている。分館長会議で平日午前午後の視聴覚室・学習室の空室で卓球台開放して芝久保公民館のPRと利用率のアップを図るべきとのアドバイスを受けお試して開始。多くの小学生と高齢者、小学生と学生、中学生の交流ツールとなっている。</p>
印象、反省点	<p>団体連絡箱の調整会を兼ねていたこともあり、多くの参加者があった。机を無くし、グループごとの円座にし、話しやすい雰囲気作りに努めた。第2部の団体連絡箱調整会のスムーズな進行をと準備していたことが参加者に伝わりきらず今後の課題となった。</p>
配付資料	<p>レジュメ、「つどう、まなぶ、つなぐ」、夜間自習室案内チラシ、公開編集会議PRチラシ、市民企画事業リーフレット、講座報告</p>

### 利用者懇談会報告(2017年3月)【谷戸公民館】

開催日時	2017年3月11日(土) 10時00分~12時00分
会 場	学習室
参加者数	36団体 36名 職員・・大橋館長、長谷部分館長、小林、塩谷、小幡
今回のねらい	多くのサークルに参加を促し、公民館とサークル、サークル同志の交流を図る。 団体連絡箱の調整会も兼ねる。
次 第 (形 態)	①館長、分館長挨拶 ②職員紹介 ③出席者自己紹介 ④公民館からのお知らせとお願い ⑤29年度事業方針について ⑥部屋利用について ⑦団体連絡箱について ⑧谷戸まつりについて ⑨谷戸公民館 29年度の主催講座について ⑩事前アンケートから ⑪質疑応答・情報交換 ⑫その他
公民館側からの連絡事項等	⑤ 29年度事業方針について (i 地域における新旧住民のつながり、ii 障がい者のサークル見学、体験の受け入れを企図したい) ②部屋利用について ③団体連絡箱について ④谷戸まつりについて ⑤29年度谷戸公民館主催講座について概略案内
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体の活動紹介(特に会員勧誘)のため、掲示板を広げてもらいたい。そして定期的に更新してほしい。チラシ等も置く期間を区切り、整理しては?</li> <li>・トイレは明るく清潔感がある。できればハンドエアシャワーがあると良い。</li> <li>・午後の利用時間(13:00~18:00)は長すぎる。2団体で利用する方法を考えてもらいたい。(例えば、1時~3時半、3時半~6時)</li> <li>・印刷機利用料金を有料にしては?例えば印刷枚数100枚ごとに100円など。</li> <li>・谷戸公民館を長く利用している。どの職員も感じがよく、利用する者にとって嬉しい。</li> <li>・ロビーは最近子供たちが多く利用している。地域の居場所の一つになっている。</li> <li>・ロッカーの鍵ですがあまり調子が良くないので何とかして欲しい。</li> <li>・年をとるとパソコンは大変なので予約が窓口でできると良い。</li> <li>・土日印刷機使用時の支払いをその場でできると有難いです。</li> <li>・無断キャンセルの防止策の徹底。少人数(3人以下)団体の利用を禁止して欲しい。</li> <li>・「谷戸まつり」「いこい部門」への参加の減少防止と参加の勧誘。</li> <li>・「パネル」に車輪付けありがとうございます。</li> <li>・視聴覚室で靴を脱いで入口までの間、素足になるので不衛生。何か工夫を。 →29年度予算で、靴脱ぎ場に新たにフロアマットと靴箱を設置すると伝えた。</li> <li>・和室の畳替えをお願いしたい。 →懇談事項の和室の畳替えは、29年度の早い時期に実施すると伝えた。</li> <li>・部屋の机配置の写真を掲示して欲しい。また、配置するための目印をつけて欲しい。</li> </ul>

	<p>→早速机配置の写真を掲示した。机配置の目印が壁の下部分にあることを説明した。</p>
印象、反省点	<p>団体連絡箱の調整会を兼ねていたこともあり、多くの参加者があった。机を無くし、円座にすることで、リラックスした雰囲気を作り出せたためか、いつもならサークル名と名前を言うだけの自己紹介の時間が、それぞれが活動内容などにも触れつつ語るサークル交流のひとつとなった。また、今回初めて事前アンケートを実施し、すぐにできることに関しては、利用懇を待たずに要望にこたえた。それが市民に好評だった。</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷戸公民館利用者懇談会レジューメ</li> <li>・部屋利用状況についての資料</li> <li>・下野谷遺跡イベントチラシ</li> </ul>

## 利用者懇談会報告(2016年度2月)

【保谷駅前公民館】

開催日時	平成29年2月25日(土)10時～12時
会場	5階 集会室
参加者数	52団体、55名(公民館運営審議会委員0名)
今回のねらい	<p>○公民館から…施設利用に関する報告とお知らせ、施設設備(修繕)関係についての報告、登録や室温管理についてのお願いを伝え、円滑な運営について理解を促す。</p> <p>○公民館・図書館合同防災訓練の報告…1月20日に公民館全館と図書館5館合同で実施した防災訓練(地震想定)について報告し、防災意識の向上と館内設備等についての周知を図る。</p> <p>○グループ討議について…活動曜日ごとに交流を図り、情報・意見交換をする。テーマは「公民館活動の地域発信と交流」。まとめを発表することで、それぞれの考えを皆で共有する。日頃接点の少ない利用者同士がグループ討議を通じて顔見知りとなることで、互いに助け合い協力しあえる仲間となることを目指す。</p>
次第 (形態)	①分館長挨拶・職員紹介 ②公民館からの報告とお知らせ ③グループ交流 ⑤ 質疑応答 ⑥団体連絡箱調整
公民館側からの 連絡事項等	○公民館の利用状況について ○施設のキャンセルについて ○平成28年度備 品購入について ○公共施設予約管理システム(ロビー端末)の契約更新につい て ○施設設備(修繕)関係について ○公民館・図書館合同防災訓練報告、印 刷スペースの作業用機の移動の報告、忘れ物の取り扱いについての連絡、ゴミの 持ち帰りや食べ物の片付けについてのお願い ○団体登録の変更・停止手続きに ついて ○室温の管理について
主な意見等	<p>【アンケートから】</p> <p>○利用者懇談会について…「同じ公民館を利用しながら、なかなか交流できない 方々と、じかにお話ができ、どんな活動をしているか、どんな悩みがあるか等、 知ることができました。仲間意識が少し生まれたような気がします」「グループご との交流ができたのは良かった。ふだんはほぼ顔を合わせることはないので。お 互い協力し合えるのではないかという話もできましたし。時間がもう少しあれば もっと踏み込んだ話ができただかも」</p> <p>○公民館活動・利用について…「無料でこんなに使えるとは感激です。今まで、家 族の誰も利用したことがなく、利用者はごく一部に偏っているのだなと思います。 受益者負担という意味でも、地域に還元するのは大事ですね。地域に向けての発 信、大事ですね」</p> <p>○あなたにとって「地域課題」とは…「子どもの貧困。ボランティア活動でどう支 援できるかも」「集まれる場所作り」「高齢化。お年寄りが幸せな地域になるには どうしたらいいかというのが課題です」「地域住民の安全確保と教養の向上等をい かに実現するか」</p>

印象、反省点	<p>●配布資料の説明については、時間を有効に使用するため読み上げを避け、説明箇所を限定して話を進めた。また、できるだけグループ討議と質疑応答に時間をかけられるよう、全体の時間配分については何度もシミュレーションを重ね効率のよいスムーズな進行を心掛けた。</p> <p>●昨年3月・10月の実施時、曜日ごとのグループ討議が好評であったため、今回も引き続きグループごとに話し合いを行った。活動曜日別の顔の見える関係づくりはある程度できてきたと考えられること、参加者側からも分野別のグループ討議の提案があったことから、今後は、活動分野等の組み合わせでの交流も視野にいれ、取り組んでいきたい。</p> <p>●初めて参加する人やふだん発言しない人が気軽に発言できるような雰囲気づくりを心掛け、多くの意見を吸い上げられるよう、前向きに努力を続けたい。</p>
配付資料等	<p>○レジュメ、利用状況表、公民館団体登録件数状況表、会議室当日利用キャンセル件数表、公民館・図書館合同防災訓練報告、平成28度保谷駅前公民館実施事業一覧 ○アンケート用紙</p>

利用者懇談会報告(2017年3月)【ひばりが丘公民館】

開催日時	2017年3月25日(土) 10時00分～12時00分
会場	集会室
参加者数	市民54団体52人、(公民館運営審議委員2人を含む)/職員8人(公民館専門員4人、再雇用嘱託員2人含む)
今回のねらい	<p>○利用者の視点から、運営上の課題及び施設等に意見をいただき、参加者で話し合う。</p> <p>○「28年度のひばりが丘公民館事業報告」をパワーポイントで上映を行い、公民館への理解を改めて深めてもらう。</p> <p>○利用者同士の対話を促し、公民館、利用者がそれぞれ一方向の報告や要望にならないよう気を付ける。</p> <p>○ひばりが丘公民館の防災対策、情報について丁寧な説明を行う。</p> <p>○ひばりが丘公民館の今後のあり方について丁寧な説明を行う。</p>
次第(形態)	①館長挨拶、事業係長挨拶、職員自己紹介 ②平成28年度事業報告(スライド写真を使用して)③公民館からのお知らせとお願い ④公民館からの報告 ⑤団体連絡箱調整会
公民館側からの連絡事項等	<p>■公民館からのお知らせとお願い</p> <p>○特例使用について ○公民館前の路上喫煙について ○路上駐車について</p> <p>○各室の適正使用等のお願い「定期使用のサークルの優先使用はない旨の説明」</p> <p>○サークル登録時の会員(市内在住)の名簿確認実施の方向での検討。</p> <p>○部屋の当日の貸出制度について、ルールを整理して今後実施の方向で検討。</p> <p>ほか</p> <p>■報告事項</p> <p>○外壁工事の終了と協力のお礼</p> <p>○1月20日実施の公民館と図書館の合同防災訓練について(今後も継続的に実施予定)・○新体制(分室)の一年を振り返って「事業については、昨年同様の水準を維持できたが、</p> <p>一方課題として分室と本館の連絡・連携の強化が課題として残っている」</p> <p>○忘れ物展示のロビーでの開催について他</p> <p>○館長から・・・鳥インフルエンザについて、2020年東京オリンピック開催に向けて、不審物等の取り扱いについて</p> <p>■団体連絡箱調整会</p>
主な意見等	<p>Q・事業報告のパワーポイントで上映を見ての意見として、受講者の顔が映っているが、職員の個人情報に対する意識が疑問である。</p> <p>A・受講者には講座初回時に掲載許可をとっている。講座の記録を残すためであり、また、公民館活動、存在意義を知っていただき、PRしていくことが重要と思っている。</p> <p>Q・講座の申込時点で、写真撮影の有無を知らせるべき。市民として拒否する権利もあると思う。</p>

Q・ホームページ掲載時は、特に慎重に対応してほしい。これは、公民館に限らず全市的に対応してほしい。

A・情報セキュリティの制度は市にある。今後も引き続き慎重に対応していきたい。

Q・分室での1年間の内容説明を受けたが、具体的に柳沢及びひばりが丘公民館の職員内部的にはどのようなようであったかを教えてほしい。

A・実際に分室としての運営がスタートして明らかになってきた課題もあった。次年度の反省材料としたい。分室の課題を、本館として正確に把握して29年度は対応していきたい。

Q・公民館の障がい者学級と障がい者施設フレンドリーとの活動との関連、考え方を教えて欲しい。

A・いろいろなニーズに対してさまざまな施設やサービスが充実してきた現在、障がい者学級に限らず公民館活動の意義が問われており、一緒に考えていただきたい。

Q・前回、公共施設予約システムが変更されると聞いていたが、いつからか。

A・平成30年1月から実施予定である。

Q・3月に開催したひばりが丘フェスティバルについて参加団体が多かった。当日朝のスタートから一斉に関係者が集合して、一日充実できたと思う。

Q・ひばりが丘フェスティバルでは、普段はサークル単位で活動しているので、他のサークルの活動を見ることができて良かったが、1サークル15分の演奏時間は少なかった。

今後、会の活動の充実のためロビーコンサートに参加してみたいのだが。

A・27年度からロビーコンサート事業を開催したが、初めてのサークル優先で考えている。今後の課題としたい。

Q・保育付きの講座をこの公民館は熱心の実施しているが、希望者は全員参加できるのか。

A・15人の保育定員があり、希望者全員の参加はできない。講座が初めての方が優先。

Q・回数を増やしてほしい。

A・講座終了後、保育付き自主サークル化してもらい、それらのサークル支援をしている。

Q・10月の利用者懇談会ではダンスサークルの議論があった。定期的に活動しているが、抽選にもれた時に、当選したサークルに直接訪問して部屋の調整を申し出た。

今後は、公民館は機械抽選にすべてを任せないで、仲立ちして調整会をしてほしい。

Q・従前には、調整会があり、サークル間の話し合いがあった。当然、言い争いもあった。

Q・部屋の予約抽選回数を、機会均衡の観点から現行の月4回から3回に制限変

	<p>更してほしい。</p> <p>A・現在、柳沢公民館では利用者懇談会にて、活動曜日毎にグループを作り、話し合いの場を設定している。このような工夫も参考にしたい。</p> <p>Q・回数制限をすることに賛成。</p> <p>Q・我々の会も、月4回申し込んでも、1回、2回の当選が実態。他の公共施設で活動。</p> <p>A・特例使用制度を使ってもらうのも一つの方法。事務室でマッチングをしている。</p>
印象、反省点 (課題)	<p>○前回到引き続き、各サークルの部屋の確保の問題の切実さを感じた。抽選回数、特例使用の活性化については、今後の早急の取り組みが必要だと思う。</p> <p>○ひばりが丘公民館は、分室という体制の下で課題、問題点を、引き続き職員と市民が共に考え、構築していく必要性を感じた。今後も繰り返し、ひばりが丘公民館の運営体制に対して、利用者に不安、不便がないように丁寧な説明を実施していきたい。</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度ひばりが丘公民館利用者懇談会【次第】</li> <li>・平成28年度ひばりが丘公民館 事業報告 「参考資料」</li> <li>・アンケート用紙</li> </ul>